

令和8年度入学 総合型選抜 第2次選考  
口頭試問（数学） 講評

問1

【出題のねらい】

2次関数の係数とグラフの位置の関係についての正確な理解を問うた。

【講評】

高等学校での数学の主要なテーマであり、習得する機会の多いものと推測され、多くの受験者が正しい理解を示していた。一方、具体的な数値ではなく文字・定数を使った比較上難易度の高い問題であったため、誤答・不理解が差がつく要因となった。2次関数の平方完成は、目的をもって行う式変形の中で代表的なものであり、大学進学後に統計理論などを学ぶ上で必須の技術である。技術的にも知識的にも十分な定着を期待したい。

問2

【出題のねらい】

絶対値の計算により、場合分けへの機械的処理・判断の定着の度合いを問うた。

【講評】

機械的な計算であり、具体的な数値での出題でもあるため、準備に時間をかけてきた受験者にとっては平易な問題であった。平易な数式処理についての習熟は、本学に限らず、また文系・理系を問わず、大学入学後、さらに社会人になってからも求められる時代背景もある。幅広い範囲の高校生が苦手意識を持たず、落ち着いて数式処理できるよう、日々の学習で着実な技術を身につけることを期待したい。